

(別紙 2)

介護ロボット使用状況報告書

平成 31 年 4 月 8 日

法人名	施設名	施設の種別
社会福祉法人聖進會	さわやか苑	介護老人福祉施設
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
排泄支援	Helppad	
介護ロボット導入時期	導入台数	
平成 31 年 3 月 20 日	1 台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】		
<p>介護職員のオムツ交換業務が必要な入居者のベッドに、本製品 Helppad を敷き運用中である。本システムでは 24 時間通しての排泄の情報を収集している。 介護職員は Helppad からの排泄データを参考にオムツ交換業務にあたっている。</p>		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】		
<p>介護職員のオムツ交換業務において Helppad からの排泄データを参考にすることで、空振り（排泄が無いのにオムツをあけてしまう）や長時間排泄物が残留してしまうことでの排泄漏れや利用者の不快感等は防ぐことができた。 また、長期間 Helppad を設置、使用することで、利用者の排泄パターンを把握することが現実的に可能ではないかと実感した。 ただ、当施設では介護職員のオムツ交換業務における空振りによる業務負担よりも、排便漏れによる業務負担の方が大きく、可能であれば便と尿の識別およびそのデータが見られると大変助かる。 これは今後メーカー側で改善の予定。</p>		
【介護ロボットの不都合な点】		
<p>上記の導入効果で記した通り、便と尿の識別ができないこと。 介護ベッドに敷いて利用者に触れる外部シート部分が、利用者の実感として多少ごわつきが気になるよう。</p>		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和2年3月14日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人聖進會	さわやか苑	介護老人福祉施設
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
排泄支援	HelpPad	
介護ロボット導入時期	導入台数	
平成31年3月20日	1台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 介護職員のオムツ交換業務が必要な入居者のベッドに、本製品 Helppad を敷き運用中である。本システムでは24時間通しての排泄の情報を収集している。 介護職員は Helppad からの排泄データを参考にオムツ交換業務にあたっている。		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用 介護職員のオムツ交換業務において Helppad からの排泄データを参考にすることで、空振り（排泄が無いのにオムツをあけてしまう）や長時間排泄物が残留してしまうことでの排泄漏れや利用者の不快感等は防ぐことができた。 また、長期間 Helppad を設置、使用することで、利用者の排泄パターンを把握することが現実的に可能ではないかと実感した。		
【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。 介護ベッドに敷いて利用者に触れる外部シート部分の改良により触れる箇所でする利用者の方は減ったがそれでも気になる人がいるため、更に改良が必要と感じる。		